

知ってる会？インタビュー～障がい福祉が身近な社会へ



8月の福祉まつりで企画した「福祉事業所スタンプラリー」



12月の高文連後志支部ボランティア研修会、高校生のグループワークのようす

当法人職員も参加している「羊蹄山ろく自立支援協議会」の部会の一つ「知ってる会?」。その事務局の方に活動の振り返りと今後についてうかがいました。

「知ってる会?」は、地域住民に障がい福祉を知ってもらうための取り組みや活動をおこなっています。現在は医療福祉関係の職員が多く集まっていて、発足して2年になります。これまでに「くっちゃん福祉まつり」で各障がい福祉事業所のブースを回る「スタンプラリー」や、事業所の場所と活動内容を記した「福祉MAP」を作成してきました。

障がい福祉の仕事の魅力を伝える活動を考えていたとき、高文連後志支部からボランティア部活動の生徒を対象になにかできないかという話があり、障がい福祉について一緒に学ぶという提案をさせていただきました。この会で高齢者介護のイメージが強い福祉の世界は、実に多種多様で私たちにもっと身近にあるということを知ってもらう機会になりました。高校生のみなさんも、福祉の仕事が子どもから高齢者まで幅広くあることに興味を持っていました（前号に掲載）。

これからも障がい福祉を知ってもらえるような企画を考えていきたいと思います。

精神科医 土田正一郎の

診察室で考えていること(仮)



その34

せつかく折角

人生にはいろいろなことが起こるものだが、あまり望んでいないこともよくおこる。避けることができるならば、避けて通りたいものだが、この歳(約49歳)になると逃げ足が遅くなるのか、いろいろなことに巻き込まれている。軽率な判断が招いていることも多いので、仕方ないかと思うようにしているが、折角なのでその状態から「稼ぐ」方法を考えてみたりする。それが上手くいくには、この歳(約49歳)まで生きてきた経験力がものをいう。「若い頃の苦労は買ってでもせよ」という教えはこのことだったのかと、せつせと元を取っている今日この頃である。

ともに顧問(自称)

各事業報告～12月末現在

- ◆障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい 契約/移行4人、継続B20人 見学/8人 体験/0人
- ◆グループホームよろこび 利用者/20人(定員22人) 見学/1人、体験/1人
- ◆法人会員 正会員21人、賛助会員 団体3 個人89人
- ◆寄付物品 食品(みかん、もち米、そうめん、野菜) 牛乳パック、はがき
- ◆今年度寄付金 のべ2団体11人 512,000円

編集後記

新年恒例(?)今年100周年一覧。○出来事…ロシア革命、フィンランド独立、初の国産アニメ公開 ○設立…理化学研究所、BMW、キッコマン、コクヨ、北洋銀行 ○生誕…J.F.ケネディ(元米大統領)、浜口庫之助(作曲家)、トニー谷(コメディアン)(かわさき)

通信 **ともに** 第44号

2017年1月25日発行

発行者/認定NPO法人ともに
 住所 〒044-0053 虻田郡倶知安町北3条西2丁目
 でんわ (0136) 55-5828
 FAX (0136) 55-5829
 Eメール info@npo-tomoni.com
 公式ホームページ http://www.npo-tomoni.com
 公式ブログ http://blog.canpan.info/npotomoni/



1月14日 グラン・ヒラフにて撮影

今月の一枚

世界から人が集まるニセコのスキー場

新年のごあいさつ ～ “心の健康”をテーマに街づくり運動を広げる年！ 理事長 小林敦子



新年あけましてめでとうございます。

昨年は、7月にフットサルのクラブチーム「K.S.C Juntos」を立ち上げ、9月に「わっくわく祭り」を初開催するなど新しいことに取り組み地域とのつながりを広げた年でした。今年は、精神障がい者が地域で安心して暮らすための“地域と連携”した支援・活動に力を入れ、特に、「“心の健康”をテーマに街づくり運動を広げる年」にしたいと考えています。これまで行ってきた「みん学拡大版」や研修会のつながりを生かし、地域が抱えている“心の健康”の悩みを“街づくり運動”で一緒に取り組んでいけたら、と思っています。本年が皆様にとって幸多い一年でありますように、また、ともにへの変わらぬご支援ご指導をお願い申し上げます。

古着物の寄付受け付けを終了します



ワークショップようていでは、これまでたくさん古着物の寄付をいただきました。しかし収納スペースに収まりきれなくなったことにより、今後は古着物や衣料の寄付受け付けを終了させていただきます。今までご寄付本当にありがとうございました。

K. S. C. Juntos **Juntos 今年の目標を語る**

昨年7月に結成したK.S.C. Juntos（倶知安スポーツクラブジュントス）。年越しにあたり、昨年の振り返りと今年の目標を各メンバーに語ってもらいました（敬称略）。

質問①選手として昨年を振り返って ②今年の目標 ③その他ひと言

打田瑠偉

- ①いろいろな場所で練習試合などできたので良い経験になりました。大会ではいろいろな人やチームの人たちと交流でき楽しかったです。
- ②得点をとる。基礎練習などで体力をつけて集中する。
- ③まだまだわからないことがたくさんありますが、これからも日々精進していきます。

折野遥

- ①スポーツで「最後までやる」という経験があまりなく、3年間の高校のバスケットに思いを寄せていたこと、その自分がフットサルをしている。やっぱり生涯スポーツはたまらないという気持ちを持っています。
- ②12月に入りまだまだ本気を出していないような気がします。自分と向き合うことで自分の道を創ることを大切にしていこう。「己の強さは体験をしたことによる判断」という前田利家の名言とともに日々試合に向き合うことを目標にしていこう。

竹村建人

- ①昨年7月1日にJuntosとして活動が始まって、最初は不安などもありましたが、練習や大会などを通じていろいろな人との交流などができてすごく楽しかったです。
- ②昨年は大会などで一勝もできなかったのですが、今年は皆で楽しくやりながら勝てるようにがんばっていきたくと思います。
- ③キーパーをやっているのですが、1点も決めさせないつもりでがんばります！



若松哲広

- ①フットサルをして体力や判断力、集中力などがつきました。
- ②自分でフットサルのことを調べて練習し、北海道選抜に入れるようにレベルアップする。

M.N.

- ①フットサルは今までやったことがなかったので、最初は戸惑いましたが、だんだんできることが増えると楽しいと思うようになりました。
- ②まだまだ未熟なので、練習に励み、チームに貢献できるようになりたいです。

佐々木淳

- ①野球もやっていましたが、フットサルも楽しいです。
- ②自分のところにパスが来るよう信頼されたいです。
- ③もっと得点力を上げたいです。

M.O.

- ①キャプテンの指示で練習中の行動を守りいろいろな体験から力をつけられた一年でした。
- ②チームワークをもっとつける。個人個人の力量を上げたい

T.U.

- ①今までスポーツに縁がなかったのですが、フットサルで仲間ができて、体力も徐々についてきたのかな、と思っています。
- ②技や戦術などを磨いて、チームの1勝に貢献することです。

M.S.

- ①技術的、体力的に足りない部分が多かった。
- ②できるだけ練習に参加する。チームの初勝利に貢献したい
- ③（月並みですが）がんばります！



石橋武

- ①たのしかった

小沢哲也

- ①楽しかったし体力もついた
- ②体力をもっとつける。技を身につけたい。パスをうまくつなげたい

障がい者就労支援事業所 **ワークショップようてい** 雪との闘い2017



タイヤショベルを使用してわっくわくの周辺を除雪しているところ

今シーズンは11月初めから雪がどっぴりと降り、その後も断続的に雪が降り続けています。農業部は除雪作業で今シーズンも汗を流しています。また契約先の除雪を引き受けていて、利用者工賃の重要な収入源です。町民にとって除雪は大変な一方、貴重な経済活動の場でもあります。

わっくわく周辺と委託先での除雪作業を撮影しました。



委託先でタイヤショベルが入らない場所は、利用者が人海戦術で手掘りします。



除雪機の使い方は回を重ねてマスターし、使いこなしています。

障がい者就労支援事業所 **ワークショップようてい** 年末年始のワークショップようてい

12月23日 利用者企画のクリスマス会
今年はクリスマスソングを歌ったあと、水1リットルの目方当てなどのクイズ大会で盛り上がりました。

12月29日 ワークショップ納会
今年一年の労をねぎらい、大掃除の後に「レストランテさかもと」さんで会食。海鮮丼のおいしさに舌つづみ。

1月6日 上映会
新年開所の1月10日を前に「プレ開所」という形で、感情の一部が出せない主人公が活躍する映画を鑑賞しました。



今年も利用者がサンタクロースに扮し、盛り上げに一役買いました。



クリスマス会は爆笑の連続（利用者Kさん撮影）



海鮮丼は納会のために特別に作っていただきました。